

情報公開用文書

(多機関共同研究用)

西暦 2026 年 3 月 31 日作成 第 1.0 版

研究課題名	多機関共同データウェアハウスを用いた救急医療データセット構築に関する研究
研究の対象	本研究では、以下の方々の診療情報を対象とします。 各参加施設のデータウェアハウス（DWH）運用開始日から 2031 年 3 月 31 日までの間に、以下のいずれかの病院の救急外来を受診された方、または緊急入院された方のうち、DWH に診療情報が記録されているすべての方を対象とします。 対象施設：横浜市立大学附属病院、横浜市立大学附属市民総合医療センター、横浜医療センター、横浜市立市民病院、横浜南共済病院、済生会横浜市南部病院、横須賀共済病院、横須賀市立総合医療センター 年齢・性別の制限はありません。
研究の目的	救急外来を受診された方や緊急入院された方の診療情報（検査結果、処方内容、手術記録、病名など）を複数の病院から集め、救急医療の研究に使えるデータベースを作ることが目的としています。 このデータベースにより、救急医療の質の向上や新しい診断・治療法の開発につながる研究を行うことができるようになります。本データベースは、将来の様々な医学研究に二次利用されることを前提としています。 なお、本研究では、患者さんに新たな検査や採血などを行うことは一切ありません。各病院に既に蓄積されている診療情報のみを使用します。
研究の方法	各病院の診療情報データベース（データウェアハウス：DWH）および医用画像管理システム（PACS）から、救急外来受診や緊急入院に関する診療情報を収集します。 収集する情報には、検査結果、処方内容、注射内容、手術記録、病名、看護記録、リハビリ記録、食事記録、透析記録、輸血記録、放射線検査、読影レポート、DICOM 画像データ（放射線画像）、細菌検査、内視鏡検査、保険種別・自己負担割合が含まれます。 お名前や住所などの個人を特定できる情報は収集しません。患者番号は、暗号化技術を用いて、元に戻すことができない研究用の番号（Research ID）に変換します。従来は「1, 2, 3, …」のような連番が使われることが多かったですが、連番では万一の情報漏洩時に個人が特定されるおそれがあります。本研究で用いる方法では、研究用番号からお名前などの個人情報を特定することはできないため、より安全です。 本研究では、患者さんに新たな検査や採血を行うことは一切ありません。遺伝子検査も行いません。
研究期間	西暦 2026 年 5 月 21 日（実施機関の長の許可日） ～ 西暦 2032 年 3 月 31 日 情報の利用、提供を開始する予定日：西暦 2026 年 5 月 21 日（実施機関の長の許可日）

情報公開用文書

(多機関共同研究用)

研究に用いる 試料・情報の 項目	【試料】 本研究では試料（検体）を用いません。 【情報】 各施設の DWH に記録されている以下の診療情報を用います。 ・ 基本情報（性別、生年月日、身長、体重、血液型、死亡日） ・ 入院・退院に関する情報（入院日、退院日、入院病棟、転科・転棟記録など） ・ 検査結果（血液検査、尿検査、細菌検査、抗酸菌検査など） ・ 処方・注射に関する情報（薬剤名、用量、投与期間など） ・ 手術に関する情報（術式、手術日、出血量、麻酔記録など） ・ 病名に関する情報（診断名、ICD コードなど） ・ 看護記録（バイタルサイン等の測定値など） ・ 放射線検査（撮影項目、撮影部位など） ・ リハビリ記録、食事記録、透析記録、輸血記録、内視鏡記録 ・ その他の診療行為記録
試料・情報の 授受	各病院の DWH から抽出された情報は、暗号化された研究用番号（Research ID）のみで管理され、研究代表機関である横浜市立大学 救急医学教室に集約されます。 【情報の授受方法】 各病院で抽出されたデータは、個人を特定できる情報を削除し、研究用番号のみを付した電子ファイルとして、パスワード付き暗号化媒体等で安全に授受します。 【保管期間・廃棄方法】 情報は、研究代表機関で少なくとも「研究終了報告日から 5 年間」または「研究結果最終公表日から 3 年間」のいずれか遅い日まで保管します。 個人が特定できない形に加工されたデータ（Research ID のみで管理されたデータベース）については、将来の医学研究に活用する可能性があるため、期間を定めず保管することがあります。 廃棄する場合は、電子データを復元できない方法で消去します。
個人情報の管理	お名前、住所、電話番号などの個人を直接特定できる情報は一切収集しません。 患者番号は、暗号化技術により、元に戻すことができない研究用の番号（Research ID）に変換されます。従来のように「1, 2, 3, …」と連番を振る方法では、対応表が漏れた場合に個人が特定されるおそれがありましたが、本研究で用いる方法では研究用番号から個人情報を復元することができず、より安全です。 研究用番号と患者番号の対応表は作成しません。
試料・情報の 管理について 責任を有する 者	【研究代表機関に集積された情報の管理】 横浜市立大学附属病院 救急医学教室 佐治 龍 【各施設における情報の管理】 各共同研究機関の研究責任者（詳細は「研究組織」の欄をご覧ください）

情報公開用文書

(多機関共同研究用)

利益相反	利益相反とは、研究の結果やその解釈に影響を及ぼしうる金銭的・人的な利害関係を指します。本研究は、横浜市立大学 救急医学教室の基礎研究費を用いて実施します。今後申請予定の公的研究費（科学研究費助成事業、国立研究開発法人日本医療研究開発機構等）を用いる場合があります。本研究に開示すべき利益相反関係はありません。
研究組織 (利用する者の範囲)	【研究代表機関と研究代表者】横浜市立大学 救急医学教室 （研究代表者）佐治 龍 【共同研究機関と研究責任者】 横浜市立大学附属市民総合医療センター 高度救命救急センター・救急(ER)部 (研究責任者) 竹内 一郎 横浜医療センター 救急・総合診療科 (研究責任者) 古谷 良輔 横浜市立市民病院 救急診療科 (研究責任者) 野垣 文子 横浜南共済病院 救急科 (研究責任者) 森 浩介 済生会横浜市南部病院 救急診療科 (研究責任者) 豊田 洋 横須賀共済病院 救急科 (研究責任者) 土井 智喜 横須賀市立総合医療センター 救急科 (研究責任者) 本多 英喜
本研究に関するご質問・ご相談等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。 ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますので下記連絡先までお申出下さい。 また、試料・情報が当該研究に用いられることについて研究の対象の方もしくはその代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象といたしませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも対象の方に不利益が生じることはございません。ただし、拒否のお申し出をいただいた段階で既に研究結果が公表されていたときなど、データから除けない場合があります。	
問合せ先および研究への利用を拒否する場合の連絡先： 〒●●●●-●●●● 住所： ●●●●病院 ●●●●科 (研究責任者) ○○ ○○ (問い合わせ担当者) ○○ ○○ 電話番号：●●●●-●●●●-●●●● (代表) FAX：●●●●-●●●●-●●●● 研究全体に関する問合せ先： 〒236-0004 神奈川県横浜市金沢区福浦 3-9 横浜市立大学附属病院 救急医学教室 (研究事務局) 佐治 龍 電話：045-787-2800 (代表)	